

2022年8月3日

公益財団法人 SOMPO環境財団

## 2022年度環境分野の博士号取得支援「学術研究助成」助成先の決定

公益財団法人SOMPO環境財団（理事長：西澤敬二、以下「SOMPO環境財団」）は、国内の大学院博士課程に所属する研究者を対象とした「学術研究助成」制度の2022年度助成先5件を決定しました。

### 1. 学術研究助成の概要

弊財団の学術研究助成制度は、環境をテーマとする意欲に満ちた優秀な若手研究者を支援し、「総合学としての環境学」の確立に寄与することを目指して、2001年からスタートしています。国内の大学院博士課程に在籍する35歳以下の研究者の環境分野の研究を対象としており、2021年度までに合計107名の方に助成を行なっています。

（助成実績）[https://www.sompo-ef.org/academic/academic\\_kako.html](https://www.sompo-ef.org/academic/academic_kako.html)

### 2. 助成決定先

別紙「2022年度助成先」参照

### 3. その他

制度の詳細につきましては、SOMPO環境財団の公式ウェブサイトをご参照ください。  
<https://www.sompo-ef.org/academic/academic.html>

以上

(別紙) 2022年度助成先 (助成額: 1名あたり30万円限度)

申請者	所属大学院名	研究テーマ
韓 旭 (カン キョク)	京都大学 経済学研究科 博士後期課程一年生	E3MEにより発電部門フェースアウトの仮定で炭素税・ガソリン税改革の環境と経済評価
宮澤 美恵子	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 国際協力学専攻 761号室	自然保全と地域社会の営みが両立するメカニズムの解明: キリマンジャロ国立公園を事例に
島村 拓弥	九州大学大学院 工学府 土木工学専攻 都市工学・交通工学研究室	多様なデータを活用した包括的かつ高解像度な持続可能性の評価
Novelia Triana (ノベリア トリアナ)	Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences Environmental Science Course Nagasaki University	Small-Medium size Enterprises' (SMEs) Preference on Forest Carbon Offset Credit :A Choice Experiment study in Nagasaki Prefecture
Lichten John Alfred (リクテン ジョン アルフレッド)	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻	農村都市化における未来の想像と実践 : 千葉県郊外の農業と生態系